

令和6年度 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業報告

はじめに

地域DMOとしての活動初年度である令和6年度は、当財団を旗振り役とする観光地域づくりに向けて、観光関連事業者の連携促進やデジタルを活用した支援による地域経済のさらなる活性化のほか、地域の人々を対象としたフォーラムの開催による観光・MICEに対する理解促進などの取組みを推進した。

観光振興においては、福岡の豊かな文化、歴史などの地域資源の活用を図るとともに、「まち歩き」の担い手づくりに取り組んだ。

また、人手不足、生産性の向上など観光課題へ対応するとともに、広域的な誘客に向けた「西のゴールデンルート」への参画、福岡型ワーケーションや修学旅行による周遊観光を推進することで、域内での回遊や消費の促進を図った。

また、MICEについては、MICE開催地として選ばれるため、魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援、欧米市場の獲得を視野に入れたセールスを行った。

1 福岡の魅力づくり

食、歴史、文化、祭り、自然などの観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、関係団体等と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

多様なニーズに応えられるよう、観光案内等の体制づくりを進めた。

① 歴史・文化・伝統の観光資源を活かした観光案内・まち歩きの推進強化

イベントに合わせた案内や、国内外の観光客、団体ツアー客など多様なニーズに対応できるよう、段階的なボランティアガイドの増員に向けて、また、誰もが一緒に観光を楽しめる環境（ユニバーサルツーリズム）を実現するために、現行のボランティア制度を拡充した「福岡市おもてなしサポーター」を新設し、募集・育成を行った。

ア おもてなしサポーター【新設】〔登録数：117名〕

イ 福岡市観光案内ボランティアの運営〔登録数：57名〕

- ・観光案内所（天神）や「博多町家」ふるさと館での観光案内
- ・ガイド派遣依頼への対応〔190回、参加者数：2,036名〕
- ・歴史資源を活かしたまち歩きコースの企画・実施〔20回、参加者数：421名〕



<元寇防塁>



<福岡城>

② エリア観光の充実

重点エリアである「福岡城・鴻臚館」と「博多旧市街」の魅力を伝えるコンテンツ等の販売を行った。

ア 「御城印」の販売

新たな御城印として潮見櫓記念版御城印（２種類）を発売

〔販売枚数 御城印（６種類）：11,907 枚、スマホ御城印：20 枚（３城〔福岡・小倉・島原〕による実証実験：16 日間）〕

イ 「古地図」の販売〔販売枚数：89 枚〕

ウ 「聖福寺」仙厓さんにふれる特別ガイドツアー〔参加者数：20 名〕



< 潮見櫓 >



< 潮見櫓記念版御城印 >

③ 観光情報の発信

ア 観光情報サイト「よかなび」やSNSで市内のイベント情報等を発信

〔発信件数：304 件〕

イ 国外向け観光情報サイト「FUKUOKA CITY Official Tourist Guide」で観光スポットやイベント情報等を発信

〔発信件数：233 件（中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、英語）〕

(2) 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」、「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行った。

(3) 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施した。

	申込者数	受験者数	合格者数
令和５年度	453 名	423 名	313 名
令和６年度	804 名	733 名	486 名

(4) 受入環境の向上

国内外からの来訪者の増加に対応し、安全安心かつ快適に過ごすことができるよう受入環境の向上に取り組んだ。

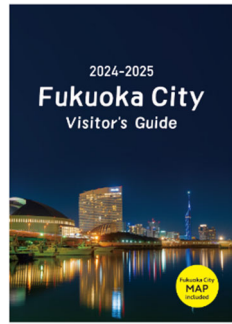
① 観光案内所（天神・博多駅）の管理・運営

()内は対前年度比

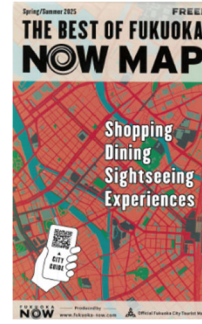
	利用者数	うち外国人
天神	125,353 人 (107.7%)	8,667 人 (93.7%)
博多駅	307,763 人 (99.2%)	110,461 人 (106.8%)

② 観光ガイドブック等の配布

福岡観光ガイドブックの発行〔7万部（日本語5万部、英語2万部）〕



<ガイドブック（日・英）>



<NOW MAP>

③ クルーズへの対応

ア 外国ラグジュアリー船などの受入時に、個別要望に即した観光案内を行った。

[57件]

イ 寄港地としての観光モデルコースの作成

④ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営

新たな観光コンテンツ「シーサイドももち ICE SKATING PARK'24-'25」の見学等
〔実施日：2月18・20日、参加者数48名〕

2 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進した。

(1) 観光関連産業の連携強化

持続可能な観光を推進するため、観光関連事業者や賛助会員等のステークホルダーと連携し、新たなビジネス機会の創出や業界の魅力向上等、観光産業の活性化に取り組んだ。

① 観光関連事業者や賛助会員等をつなぐマッチングイベント等の実施

ア 販路開拓や観光コンテンツ造成に向けたビジネスマッチング〔全16回、延べ64社〕

イ 観光関連事業者等をつなぐマッチング交流会の開催〔3回、来場者数：194名〕

※リアル開催2回、オンライン開催1回



<ビジネスマッチング>



<観光関連事業者等のマッチング交流会>

② 宿泊事業者等の人材確保・育成

宿泊事業者等の人材確保・育成、離職防止に向けた取組みを行った。

ア 次世代リーダー育成のための研修・交流プログラム

〔実施期間：令和6年8月8日～令和7年2月21日（全13回） 参加者数：18名〕

イ 宿泊業界合同就職フェアの開催〔出展事業者：25社、来場者数：205名〕

ウ 宿泊業経営者等へのセミナーの開催〔参加者数：31名〕

エ 大学での就職説明会等の開催〔実施校数：4校 実施回数：7回〕



＜次世代リーダー育成研修・交流プログラム＞



＜宿泊業界合同就職説明会＞

③ 観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大推進事業」

大相撲九州場所をフックに賛助会員（4社）と協働し、欧米豪訪日観光客向けに特別な体験を提供するコンテンツ開発を行った。

〔7コンテンツ開発、参加者数：89名（うち外国人39名）〕

〔「おすもう御朱印」販売枚数：759枚〕



Fukuoka grand SUMO
tournament with the master.
(Ticket Included)
(Mon)11th, (Tue)12th, (Wed)13th, (Thu)14th, (Mon)18th,
(Tue)19th, November 2024

＜大相撲観戦コンテンツの開発＞



＜能楽体験＞

(2) 広域連携誘客事業

自治体等と国内外の商談会に共同出展し、九州各地への誘客を図る取組みを行った。

① 国内向けプロモーション

ア 福岡・大分デスティネーションキャンペーン

福岡・大分デスティネーションキャンペーンの期間（令和6年4月～6月）に合せて、博多の伝統文化を紹介する「博多券番の芸妓衆とお座敷体験」を販売した。

〔参加者数：計74名〕

イ 「ツーリズムEXPOジャパン2024」への出展

「西のゴールデンルート」の参加自治体と共に出展。旅行会社や観光関連事業者等との商談、西日本・九州の魅力やテーマを絞った観光コンテンツの紹介を行った。

- ・ 開催期間：令和6年9月26日～9月29日

- ・ 開催場所：東京ビッグサイト

② 海外向けプロモーション

30 万人の参加者を見込む展示会にブース出展し、観光プロモーションや商談を行った。

ア 「2024 台北国際旅行博（I T F）」への出展

- ・ 開催期間：令和 6 年 11 月 1 日～11 月 4 日

イ 「タイ INTERNATIONAL TRAVEL FAIR（T I T F）」への出展

- ・ 開催期間：令和 7 年 1 月 15 日～1 月 20 日



<2024 台北国際旅行博（I T F）> <タイ INTERNATIONAL TRAVEL FAIR(T I T F)>

(3) 修学旅行による都市圏周遊の推進

都市圏を含む周遊観光を推進し、市内に宿泊する修学旅行への支援を行った。

- ① 貸切バス代の支援 [利用実績：316 校、698 台]
- ② 体験学習プログラムへの参加費支援 [利用実績：185 校、13,262 人]
- ③ 「福岡修学旅行 N A V I」によるモデルコース等の情報発信
- ④ モニターツアーの実施
旅行会社や学校を対象に博多旧市街のまち歩き体験を実施 [参加実績：13 人]

(4) 福岡型ワーケーション推進事業

ワーケーションに興味・関心を持つ企業をターゲットとした新たなプログラムの開発や、長期滞在を支援する特典の提供、受入環境の向上に取り組んだ。

- ① 企業向けワーケーションプログラムの開発 [4 コンテンツ]
研修会・チームビルディング等の企業利用が期待できる合宿プランを開発
- ② ワーケーション利用者向け特典の提供
- ③ ワーケーションの受入を支援するパートナー企業交流会の実施
[2 回、来場者数：18 社 27 名（第 1 回）、18 社 23 名（第 2 回）]
- ④ デジタルノマド滞在支援コーディネーターの配置
- ⑤ デジタルノマド向けサービス（クーポン）利用促進とニーズ調査

(5) 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等と今後の施策について情報交換を行った。

- ① 九州観光機構、福岡県観光連盟、福岡地区観光協議会など観光団体等との連携
- ② 姉妹協会等団体との交流連携
シンガポール政府観光局と姉妹提携 30 周年記念レセプションを開催

3 MICEの誘致及び開催支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、主催者のニーズに応じた開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまで、ワンストップで実施した。

福岡市のシビックプライド醸成や認知向上につながるシンボリックなコンベンション、開催地が重要である企業主催のミーティングやインセンティブツアー（報奨・研修旅行）、ビジネスの機会創出につながる展示会・見本市の誘致活動を展開したほか、ユニークベニユーの開発、活用に取り組んだ。

〔開催決定件数・参加者数〕

■国内コンベンション（参加者1,000名以上）	32件（令和5年度：47件）
■国際コンベンション（参加者50名以上）	92件（令和5年度：51件）
■インセンティブツアー	14,066人（令和5年度：12,515人）

(1) MICE誘致等

学会・大会の事務局や主催者キーパーソンなどに対し、オンラインも含めたセールス活動を実施し、国内外のコンベンションの誘致などを行った。

① コンベンションの誘致

ア 国内外の商談会への出展およびキーパーソンへのセールス

商談会名	会 期	場 所	商談 件数	決定 案件数	交渉中 案件数
IMEXフランクフルト	令和6年5月14日～16日	ドイツ	12	3	9
AWC	令和6年6月1日	オーストリア	18	0	15
IMEXラスベガス	令和6年10月8日～10日	アメリカ	13	0	7
Japan MICE EXPO	令和6年10月17日、18日	大阪	3	0	3
国際MICE EXPO	令和7年2月13日	東京	11	4	11

イ シンボリックMICEの誘致・開催

○ SWT e s t A s i a 2025大会の誘致

- ・ 概 要：半導体に関する国際カンファレンスで、最新の研究成果等の発表や最新の製品とサービスの展示が行われる。
- ・ 会 期：令和7年11月20日、21日
- ・ 会 場：ヒルトン福岡シーホーク
- ・ 参加者数：約500名

○ 世界観光ガイド連盟（WFTGA）総会2026大会に向け、チーム福岡でサポートを継続実施

- ・ 概 要：観光ガイドのプロフェッショナルが集まり、連携強化、トレーニング教育などの情報交換等が行われる。日本初開催。
- ・ 会 期：令和8年2月9日～13日（5日間）
- ・ 会 場：福岡国際会議場
- ・ 参加者数：世界約60か国の国・地域から約600名

○ 国際LGBTQ+旅行協会（IGLTA）世界総会2024大阪大会と連携したMICEの創出を実施

◆福岡サテライトイベント

- ・開催日：令和6年10月31日
- ・開催場所：（ミニコンベンション）大名カンファレンス（ネットワーキングを目的としたパーティー）グランドハイアット福岡
- ・参加者数：ミニコンベンション88名、パーティー74名

◆FAMトリップ

- ・開催期間：令和6年10月29日～11月2日
- ・招へい者：IGLTA役員、メディア、旅行会社6名
- ・実施内容：着物体験、ラーメン手作り体験、博多芸妓とのお座敷遊び等



<サテライトイベント>



<FAMトリップ>

ウ 欧米プロモーション

欧米に本部を有する国際会議の開催地決定権者が多く集う商談会である、アソシエーションズ・ワールド・コンGRESS（AWC）2024へ参加し、福岡での開催可能性が見込めるキーパーソンの発掘を行った。

〔商談件数：18、交渉中案件数：15〕

エ ターゲットマーケティング

シンガポール市場及びMICE従事者をターゲットとし、LinkedIn（SNS）を活用したマーケティングを展開した。〔シンガポールのフォロワー数の増：474件〕

オ 地元学術界・産業界とのネットワーキング

九州大学伊都キャンパスの「MICE相談デスク」を活用した営業活動を継続し、大学関係者を対象としたコンベンションセミナーを開催した。

〔九州大学コンベンションセミナー概要〕

- ・実施内容：会場視察ツアー、コンベンションセミナー、交流会
- ・開催日：令和6年12月17日（火）
- ・参加者数：53名
- ・成果：検討案件5件発掘、決定案件3件



<新たな懇親会場・浜地酒造視察>

② ミーティング、インセンティブツアーの誘致

MPF主催の招へい事業などに参加したMICE主催者へのフォローアップを通じて、具体的な成約、新たな顧客獲得に取り組んだ。また、欧米系の企業や学協会事務局の支社・支局を多数有するシンガポール市場の開拓の足掛かりとして、現地でMICE主催者等を集めたセミナー及びダイレクトセールスを実施した。

ア 商談会への参加

商談会名	会 期	場 所	商談 件数	決定 案件数	交渉中 案件数
IMEXフランクフルト	令和6年5月14日～16日	ドイツ	15	3	11
JNTO韓国 インセンティブ商談会	令和6年8月28日	韓国	10	2	1
JNTO台湾 インセンティブ商談会	令和6年9月4日	台湾	10	5	6
VISIT JAPAN MICEマート	令和6年9月26日～28日	東京	23	4	6
IMEXラスベガス	令和6年10月8日～10日	アメリカ	9	2	7
Japan MICE EXPO	令和6年10月17日、18日	大阪	2	0	2
JNTOタイ インセンティブ商談会	令和6年12月12日	タイ	10	0	4
国際MICE EXPO	令和7年2月13日	東京	10	3	4

イ シンガポールセミナー及びダイレクトセールス

シンガポールで「福岡MICEセミナー」を開催し、参加を希望する賛助会員6社と連携してMICE開催地としての福岡の魅力のアピール及び現地でのダイレクトセールスを実施した。

- ・ 実施期間：令和6年12月3日（火）
- ・ セミナー参加者：31社38名（旅行会社、PCO、学会、協会等）

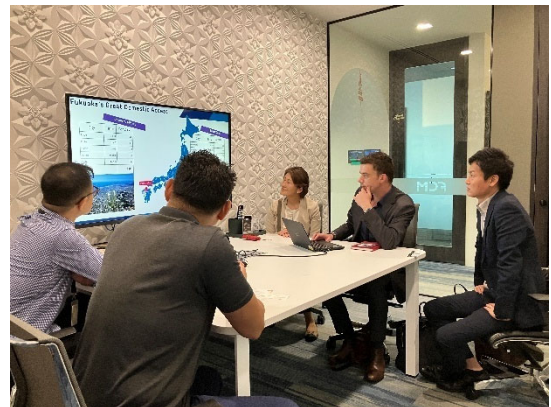
MICEメディア1名

- ・ ダイレクトセールス：9社（旅行会社、PCO、主催関係者、現地政府観光局）
- ・ 成 果：ミーティング・インセンティブツアー誘致決定3件、交渉中3件

現地MICE専門メディア（TTGMICE）への掲載



<セミナー後の記念撮影>



<ダイレクトセールス>

③ 展示会・見本市の誘致

展示会・見本市主催者が参加する主要商談会への出展し、新たな人脈を構築するとともに、地元業界団体・企業等とのビジネスマッチングを行い、新規分野の展示会・見本市の誘致に積極的に取り組んだ。

〔見本市への出展〕

商談会名	会 期	場所	商談 件数	決定 案件数	交渉中 案件数
第11回イベント総合EXPO	令和6年7月3日～5日	東京	20	1	17
Japan MICE EXP02024	令和6年10月17日、18日	大阪	5	1	4
国際MICE EXPO	令和7年2月13日	東京	1	1	0

(2) MICE開催支援

MICE主催者の多様なニーズに合わせた支援を行った。

① コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や国際会議開催にかかる費用の一部やユニークベニュー活用にかかる費用の一部を助成した。

〔国際・国内コンベンション開催助成金交付〕

	国内コンベンション (参加者1,000名以上)	国際コンベンション (参加者50名以上)
令和5年度	21件	11件
令和6年度	26件	20件

② ミーティング・インセンティブツアー開催支援

市内宿泊を伴うミーティング、インセンティブツアーに対して、延べ宿泊者数に応じて助成を行ったほか、来福時の物的支援、伝統芸能等の提供を実施した。

〔助成金交付件数：16件、物的支援：84件、伝統芸能等の提供：9件〕

③ 見本市等開催支援

市内初開催及び拡張開催の見本市等に対して、会場使用料の一部の助成を行った。

〔交付件数：6件〕

④ ユニークベニューの活用促進

ア 博多川川床

- ・ 概 要：日本青年会議所第73回全国大会福岡大会の開催に際し、博多川に川床と竹灯籠を設置し、大会参加者や市民に博多の伝統芸能などを楽しんでもらえる会場として活用した。

- ・ 日 時：令和6年10月4日（金）～12日（土）

- ・ 参加者数：21,195名

イ 住吉神社能楽殿

- ・ 概 要：国際バイオフィアブ리케이션学会（ISBF）2024の開催に際し会長招宴の会場として活用し、能の披露等の他パーティーを行った。

- ・ 日 時：令和6年11月9日（土）

- ・ 参加者数：60名（国内外）

ウ 警固神社境内

- ・ 概 要：実証イベント「WAZA DEPARTMENT」を同会場で開催し、文化体験や福岡伝統文化のパフォーマンス披露等を実施した。
- ・ 日 時：令和6年11月7日（木）
- ・ 参加者数：112名（MICE関係者）



＜住吉神社能楽殿でのパーティー＞



＜警固神社境内での太鼓演奏＞

(3) MICE人材育成事業

MICEの認知度向上と次世代人材の育成を図るため、大学生等を対象に、MICEに関する講座や施設の視察、コンベンションや学会・展示会等の運営体験など20プログラムを実施した。〔登録者数：151名〕



＜総支配人によるホテル講義＞



＜学会会場での実務体験＞

(4) 関係機関・団体との連携

MICE関係機関・団体等との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行った。

① MICE関係機関・団体との連携

観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRES・コンベンション・ビューロー（JCCB）、九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会、日本展示会協会など

② 地元経済団体との連携

福岡地域戦略推進協議会（FDC）、九州経済連合会、福岡商工会議所など

③ 業界のグローバルな団体等への加盟

国際会議協会（ICCA）、ミーティング・プロフェッショナルズ・インターナショナル

ナル（MP I）、インセンティブ旅行協会（S I T E）、国際ゲイレズビアン旅行協会（I G L T A）、国際コンベンション管理協会（P C M A）など

4 情報発信・広報、マーケティング

観光・M I C Eに関するトピックや統計情報の提供など戦略的な情報発信を行った。

(1) デジタルマーケティング推進

- ① 「Googleビジネスプロフィール」の導入等支援〔支援事業者数：102件〕
- ② 観光データの収集、旅行客へのアンケート調査
- ③ 入国者の推移、国別の傾向など観光データをまとめたレポートの発信
- ④ 観光データを基にした観光客の動向などの講演・セミナー

(2) 海外への情報発信

- ① S N Sを活用した海外への情報発信
- ② メディアへの情報提供〔1件（内閣府発行海外情報誌への記事掲載）〕
- ③ メディアへの取材支援〔4件（フランス、香港、アメリカ、シンガポール）〕

(3) 広報活動

- ① 財団ホームページによる情報発信
- ② 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年2回、各2,500部〕

5 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、賛助会員の確保を図った。

(1) ステークホルダーの理解促進

- ① 市民を対象にした観光地域づくりフォーラム
- ② パートナーズ・ワーキング・グループ

賛助会員と地域課題等を議論・検討する場を開催



<観光地域づくりフォーラムの開催>



<ワーキンググループの様子>

(2) 賛助会員交流会の開催

天神のまちづくりや福岡市の観光・MICE についての講演会、企業 P R ブースの設置等を行った。



< 講演会 >



< P R ブース >

(3) 賛助会員サービスの提供

- ① コンベンションスケジュールの作成、提供
- ② メールマガジンの配信 [財団主催イベントや、市の施策等の情報提供など]
- ③ 財団のホームページ、機関誌による会員 P R ・ 情報発信